

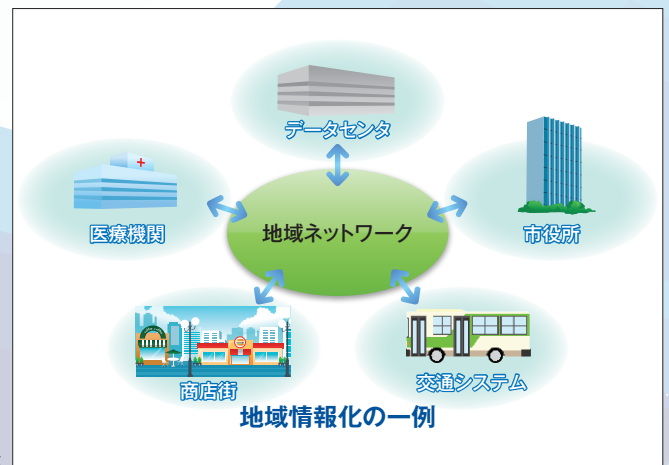
事業内容 (4)

Ⅲ 地域情報化・ITと産業の融合関連事業

地域の企業、大学等が有する技術シーズや知見を利用し、地域の産業や地域コミュニティ等が抱える課題解決等の地域ニーズに対応した複数地域で共有可能な先進的なIT活用システムを開発・実証し、その導入と普及を図っています。既に、全国の多くの地域で実システムとして導入が進み、稼働中で、市民生活等の利便性の向上に役に立っています。

★主な事例

- 旭川市：旭川地域コミュニケーションシステムの開発
- 江別市：江別ブランド(資源・特産物等)事典の開発
- 紋別市：住民から発信可能な地域情報システムの開発
- 札幌市：SaaSモデルによる公共ポータルの開発
- 函館市：ITを用いた地域見守りシステムの開発
- 函館市：医療・健康・観光情報共有システムの開発
- 岩見沢市：岩見沢生活空間システムの開発
- 浜松市：スポーツ・文化施設予約システムの開発
- 京都府井手町：地域まるごと体験交流お助けシステムの開発
- 兵庫県：双方向性を持つ連絡情報提供システムの開発
- 長崎県新上五島町：SNSplus活用成長型ポータルサイト開発



農工商連携・医工連携等により製造業・農林水産業等のIT化を促進し、ITと融合した新産業を育成するための調査研究、関連システムの開発を行なっています。

Ⅳ 高齢化社会の情報化関連事業

シニアがパソコンやインターネットを利用して、より楽しく、便利で活動的な生活を送れ、社会参加に役立てる等を目指した「シニアネット」の活動を支援しています。

また、シニアのITリーダーの育成・活動支援を目的とした協会独自の資格付与制度である「シニア情報生活アドバイザー制度」を運営しています。

養成講座実施団体(シニアネット)と連携して、シニア向けIT講習会、パソコン相談コーナー、訪問サポートなどの活動を支援しています。また、「新たなシニア文化の創造と発信」を目標にシニアが積極的に社会参加できる社会の仕組み、社会参加のあり方等を研究するため、「シニアネットフォーラム」を毎年開催しています。

全国で活動しているシニアネットとシニア情報生活アドバイザーの数(平成24年8月現在)は、

- シニアネット団体数：135団体
- シニア情報生活アドバイザー数：約3,400名



シニア情報生活アドバイザー研修会



シニアネットフォーラム(活動交流展示)